



マンスリータイムズ(令和6年度)

みはま 5月号

全校集会 みはまのみんなの笑顔がいっぱい(^_^)v

5月31日(金)の午前中、今年度初めてとなる全校集会が開催されました。昨年度までは二学部(通学生)も各教室からオンラインで参加していましたが、今年は体育館に集まることができました。また、隣接する和歌山病院に入院している一学部のみんなははまかぜ教室や病棟のデイルームに集まり、オンラインを活用して参加しました。

今年の全校集会では、一学部と二学部のつながりを大切にしようと計画されました。中学部一年生は二学部の生徒が事前学習として、同じ学年の一学部の友だちのことを担任の先生から聞く機会を設けるなど、日頃なかなか接することができない「みはまの仲間」を意識するよう取組を進めました。

当日は、一学部のみんなが朝の会で歌っている「はじまりのうた」を二学部芸術音楽選択生が演奏して集会がスタートしました。その後、学年ごとに自己紹介をしたり、合奏の様子を動画で上映するなど、趣向をこらした発表がありました。高等部ではラップ♪で同級生を紹介し一学部の友だちの名前を“コール&レスポンス”すると、会場の盛り上がりは最高!でした。オンラインの画面越しに名前を呼ばれた一学部のみんなも画面をじっと見たり、表情をやわらげたりする様子が見られました。



校長先生と生徒会役員 ランチミーティング開催

今年度の高等部生徒会執行部が決まりました。生徒会として、どんなことに取り組みたいか、校長先生に報告する機会として、「ランチミーティング」を開催しました。

執行部の役員からは「安心できる学校」「みんなの拠り所になるような学校」を目指したい、という話がありました。そのために「もっと一学部のみんなどの交流を増やしたい」

「煙樹ヶ浜や松林の清掃に取り組んでみたい」「体育祭を復活させたい」等のアイデアが出されました。

校長先生から、「みんなのためによりよい学校づくりに取り組んでほしい」と話があり、併せて「美浜町にある学校として、美浜町の人にも大切に思ってもらえる取組をしてはどうか?」という提案もありました。

まずはできるところから、取組をすすめていきましょう!



人権研修～育てる・支える生徒指導～

5月28日(水)の放課後、教職員を対象とした人権研修を開催しました。当日は和歌山大学教育学部 北岡大輔先生から「育てる・支える生徒指導」と題して、改訂された『生徒指導提要』から、生徒指導の定義や目的、学習指導と生徒指導が学校教育の両輪として機能することが大切なこと等、こどもを育て支えるために教師の関わりで大切にしたい視点についてお話いただきました。講義のあと、グループに分かれて「こどもたちの“ステキ”なエピソード」を発表、そのときに教師の関わりやこどもの反応についても話し合いました。最後に、こどもと関わるときに大切にしたいキーワードを出し合いました。「一人の人として尊重する姿勢」「こどもが自信をもてる」「キャッチボール」…先生たちが考えたキーワードは校長室に掲示しています。

